



TITLE:

戦争と社会問題

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

---

CITATION:

米田, 庄太郎. 戦争と社会問題. 経済論叢 1915, 1(1): 111-118

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126865>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 叢論濟經

號一第

卷一第

## 論說

●貧富問題(二)

●でうゐるさ・ひゆーむノ經濟學說(二)

●地代ノ性質ニ就テ

●地方財政ノ調整

## 雜錄

●減債基金ト鐵道資金

●獨逸ノ自治制ニ就テ

●戰爭ト社會問題

●津村博士ノ國民經濟學原論ニ就テ

## 雜報

●租稅ノ新傾向

●佛國ノ外國放資

●佛國植民地ノ現勢

●著名ノ婦人ニ關スル統計的研究

●麥ノ收穫ト米價

●最近人口靜態統計

●日本經濟叢書第十二卷ヲ讀ム

●和田垣教授在職二十五年祝賀

●Robert Meyer 逝ク

●びねーる・るろわ・ぼーりゅー氏ノ陳亡

法學博士

田島 錦治

法學博士

福田 德三

法學博士

戸田 海市

法學博士

神戶 正雄

法學博士

小川 郷太郎

教授

財部 靜治

講師

米田 庄太郎

法學博士

河上 肇

法學博士

神戶 正雄

法學博士

小川 郷太郎

助教授

山本 美越乃

法學博士

河上 肇

講師

高田 保馬

法學士

大山 壽

法學士

本庄 榮治郎

法學博士

神戶 正雄

法學博士

小川 郷太郎

法學博士

織田 萬

# 戰爭ト社會問題

法、文科大學講師 米田庄太郎

『萬國社會學評論』最近號ニハ佛國ノ經濟學ノ大家トシテ其名世界ニ傳ハレルジード氏ノ『戰爭ト社會問題』ト題スル一文ガ掲載サレテ居ル。附註ニヨレバ本文ハ氏ガばり大學法科大學ニ於テ擔任サレテ居ル比較社會經濟學講座ノ本年度ノ講義『賃銀勞働ノ變遷及ビ將來』ノ初講デアルトノ事デアル。一讀ノ際色々興味ヲ感ジタカラ此處ニ其大要ヲ譯シテ讀者ノ參考ニ供スル。(Charles Gide, La guerre et la question Sociale, Revue internationale de Sociologie, Mars, 1915.)

『賃銀勞働ノ變遷ト將來』、是レ余ガ觸レテル問題ト信ジテサキニ本年度ノ講義ノ題ニ選ンデ置イタノデアルガ、併シ今日誰レガ賃銀勞働ノ將來ナンカラ考ヘテ居ルカ。今日吾人ノ心ヲ壓迫シテ居ルノハ只我國ノ將來ト云フ問題デアル。社會問題ナゾニ心ヲ煩ハシテ居ルモノハ誰レモナイカモ知レナイ否ナ今日ズハ社會問題ト云フモノハ最早存在シテ居ラナイ。國際社會主義ナルモノモ今日デハ何處カヘ消ヘテ仕舞フタ。而シテ此ノ國際社會主義ノ興跡コソ實ニ目下ノ大戰爭ガ齎ラシタ尤モ思ヒガケナイ事件ノ一デアルノデアル。最近四十年間ニ現ハレタ將來ノ戰爭ニ關スル著作論文ノ數ハ殆ンド算ヘ切レナイ程デアルガ、其ノ内ニ國際社會主義ヲ重要ナル一因素トシテ勘定ニ入レテ居ルモノハ少ナクナイ。多クノ人々ハ國際社會主義ハ戰爭ヲ障礙スルデアラウ、少クモ宣戰布告ノ際ニハ總同盟罷工ニヨリテ動員ノ進行ヲ妨害スルデアラウト懸念シテ居ツタ。此ノ懸

念ハ殊ニ佛國ニ於テ大ナルモノデアツタ。又今日ノ勞働者ニアリテハ國ト國トノ戰爭、國民ト國民トノ戰爭ト云フ様ナモノハ最早何等ノ意味ヲモ有ツテ居ラナイ、彼等ニハ只階級戰爭アルバカリデアルトハ、近來吾人ノ日常耳ニシテ居ツタ言葉デナイカ。然ルニ目下ノ大戰爭ノ開始ニ際シテ一度動員令ノ出ヅルヤ如何ナル光景カ吾人ノ眼前ニ開展シタカ。各交戰國ノ總テノ社會主義者ハ一言ノ不平ヲモ云ハズニ直チニ自國ノ國旗ノ下ニ奔セ集リ、一齊ニ國歌ヲ唱ヒダシタ。此ノ如キハ畜ニカネテヨリ怪マレテ居ツタ獨逸ノ社會民主黨ダケニ限ラナイ、佛國ノ總テノ社會主義者モ「サンデガリスム」主義者モ無政府主義者モ反軍國主義者モ一度ニ蹶起シテ我レサキニ戰場ニ趣イタノデアアル。是レツマリ從來吾人ガ、今ヤ社會問題ハ國民問題ヲ全ク次位ニ退ケ而シテ階級戰爭ハ勢力又ハ獨立ヲ目的トスル國民ノ奮闘ヲ壓倒シ、之ヲ防止スルデアラウト信ズルニ於テ、吾人ハ全然謬ツテ居ツタコトヲ證明スルモノデハアルマイカ。勞働者ハ外國人ヨリモ自國ノ資本家ヲ一層憎惡スルト信ソジテ居ツタノハ一ノ空想デハナカツタカ。一發ノ砲聲デ人心ノ奥底ニ潜メル古キ好戰の本能ヲ覺醒シ人種の憎惡心ヲ挑發スルニ十分デアツタ。國際社會主義大會ノ一切ノ宣言ニ反シテ勞働者ハ一度動員令ノ出ヅルヤ忽チニシテ世界ノ無資產階級者タルヲ忘レ、自分ハ只獨逸人デアルトカ佛國人デアルトカ感ズルニ過ギナイモノトナツタ。是レツマリ人間ヲ動カスニハ利益ヨリモ情念ガ一層強大ナルヲ證明スルモノニシテ、唯物史觀ノ主張ノ失敗ヲ示スモノデナイカ。

吾人ハ實ニ何等ノ「バラドックス」ニ陷ラズシテ左ノ如ク考ヘルコトガ出來ル。即チ今ヤ一切ノ社會的要求、社會的不滿カ消失シタトスレバ、是レ戰爭狀態ハ今日其等ノ要求其等ノ不滿ニ總テ

ノ満足ヲ與ヘ、更ニ如何ナル社會的革命モ到底及ビ難イ程度ニ於テ此ノ満足ヲ與ヘタガ爲メデア  
ルト。暫ラク吾人ヲ此見地ニ置テ眼前ニ展開シツアル光景ヲ眺メシメヨ。

今日ノ戰場ニ於ケルホド社會的平等ガ完全ニ實現サレタコトハ曾テアルマイ。富者モ貧者モ、  
貴公子モ、職工、百姓ノ息子モ總テ同ジ軍服ヲ着シ、同ジ宛行ヲ食シ、同ジ塹壕ノ中ニ死生ヲ共  
ニシテ居ル。疑ヒモナク或者ハ「ボツケツト」ノ中ニ金ヲ所持シ、他ノ者ハ所持シテ居ラナイ。併  
シ買フ可キモノノナイ處デハ金ハ何ノ益ニモ立タナイ。疑ヒモナク或者ハ他ノ者ヨリモ多ク彼等  
ノ家族ヨリ小包郵便物ヲ受ケテ居ル。併シ何人モ之ヲ受ケナイモノハナイ。日日無數ノ慰問品ハ  
戰場ニ到着シ、古イ共產主義ノ原則ニ從ヒ必要ニ應ジテ各人ニ分配サレテ居ル。疑ヒモナク軍隊  
ノ間ニハ位階ノ別ハアリ、體統ハ確立サレテ居ル。併シ之レハ社會的體統ト一致シテ居ラナイ。  
否ナ社會的體統ハ屢屢轉倒サレテ居ツテ、職工ガ大學教授ヤ貴公子ヲ指揮シテ居ル場合ハ少ナク  
ナイノデアル。

サレド今日交戰國ニ於ケル平等主義共同主義ノ實行ハ單ニ軍隊間ニ限ラレテ居ラナイ。一般ノ  
市民間ニ於テモ種種ノ方面ニ於テヤハリ此等ノ主義ガ實行サレテ居ルノデアル。戰爭ノ最初ノ數  
週間ニ於テハ吾吾ハ富者モ貧者モ總テ通行券ヲ得ル爲メニ警察ノ前ニ、又ハ乘車券ヲ得ル爲メニ  
停車場ノ前ニ、同ジ列ヲナシテ並ンダ。今日モ尙ホ戰場ニアル子弟ノ安否ヲ心配スル點ニ於テ、  
戰死ト聞テ悲ム點ニ於テ、戰爭ノ勝敗ヲ氣遣フ點ニ於テ、吾吾ハ總テ平等デアル。病院ニアリテハ  
貴婦人モ百姓ヤ職工ノ妻女モ同シ赤十字社ノ看護婦ノ服ヲ着シテ負傷者ノ傷所ヲ繙帶シ、足ヲ洗  
フテ居ル。地主ヤ借屋主ハ地代ヤ屋賃ヲ受取ツテ居ラズ、資本家ハ株ノ配當金ヲ受取ツテ居ラナ

イ。馬車ヤ自働車ヲ驅ツテ疾走シテ居ツタ人ハ今ヤ其馬ヤ自働車ガ徵發サレテ徒步シテ居ル。或交戰國デハ金ヲ私有スルコトハ嚴禁サレテ居ル。又總テノ債權ハヨシ廢止サレタノデハナイニシテモ、其ノ執行ハ無定期ニ延期サレテ居ル。召集サレタ兵士ノ家族ヤ避難者ノ家族ノ尤モ多クハ國家又ハ私設ノ團體ニヨリテ給養サレテ居ル。生活必要品ハ彼等ノ爲メニ或ハ徵發セラレ或ハ少クモ其價格ハ國家ニヨリテ規定サレテ居ル。殊ニ獨逸ハ穀類、馬鈴薯、肉類、金屬等ノ最高價格ヲ規定シテ居ルガ、恐ラクハ遠カラズシテ一切ノ土地產物ノ最高價格ハ規定サレルコトナルデアラウ。恐クハ一切ノ土地產物ノ價格ヲ國家ノ手ニヨリテ規定シ、又ハ之ヲ人民間ニ配當スルト云フ主義ハ、穀物商業ヲ國家ノ手ニ獨占スルコトニヨリテ間モナク完成サレルデアラウ。而シテ總テ此等ノ現象ハ既ニ公產主義制<sup>パブリック・システム</sup>共同主義制<sup>コモン・システム</sup>ニ到達セル社會ノ特徵ヲ表示スルモノデハナイカ。

併シ交戰國ニ於ケル經濟狀態ノ變動ハ以上述べシガ如キ方面ニ止マツテ居ラナイ。尤モ嚴格ニ保護貿易主義ヲ遵奉セル國ガ今ヤ輸入ニ對シテ門戸ヲ開放シ、而シテ輸出ニ對シテ之ヲ閉鎖シテ居ル。又「アブサント」ハ云フマデモナク「アルコール」ノ販賣モ禁止サレテ來タ。尙ホ經濟的ト云フヨリハ寧ロ精神的ト見ル可キ幾多ノ變動ガ起ツテ、佛蘭西殊ニ巴里ニ眞ニ新シキ相貌ヲ與ヘテ居ル。例ヘハ肉慾挑發的ナ新聞雜誌ヤ廣告ノ消失、「バー」ニ於ケル自働賭博器械ノ消失ヤ、「カフェー、コンセル」ヤ拳闘場ノ閉鎖、「ファイヴ、オ、クロック」ノ廢止、「アバツシユ」ノ大膽ナル行動ノ止ンダコト、夜ノ都ノ巴里ノ夜ガ田舎都市ニ於ケル如クシントシテ靜マリカヘツテ居ルコト。此等ノ狀態ヲ見テ、何人モ戰後佛蘭西ハ如何様ニカ眞ニ變化スルデアラウト感ゼザルヲ得ナイ。然ラバ戰後ドウナルカ。

萬事舊ニ復スルデアラウトハドウシテモ考ヘラレナイ。余ハ新シキ社會經濟カ起ツテクルデアラウト信ズル。併シ戰後ノ社會經濟ハ如何ナル點ニ於テ新シクナルデアラウカ要スルニ余ハ戰後ノ社會經濟ハ上ニ述ベシガ如キ戰時狀態ヨリ起レル該經濟ヨリシテ其ノ原則ノ或モノヲ借リルト云フ點ニ於テ新シクナルト信ズルノデアアル。

勿論余輩ハ上ニ述ベシガ如キ戰時ノ經濟狀態ガ總テ其儘ニ保持サレルコトヲ望ムモノデナイ。併シ若シ酒類販賣ノ禁止、箇人ニ對シテハ奢侈費ノ制限、國家ニ對シテハ軍事費ノ制限、貨幣ノ力ヨリハ人間及ビ生活必需品ノ價值ヲ一層尊重スル傾向、若シ此等ノ事ガ戰後少シニテモ保持サレルトスレバ、經濟上ヨリ見テモ亦道德上ヨリ見テモ目下ノ戰爭ノ大慘害ヲ補フニ足ルト信ズルノデアアル。茲ニハ只社會問題殊ニ本講義ノ問題トナツテ居ル處ノ階級鬭爭及ビ勞動者階級ノ開放ト云フ見地ヨリ論究スルニ止メルガ、要スルニ余ハ一見「バラドクス」ト思ハルル左ノ如キ結果ヲ期待スルコトガ出來ヤウト信ズル。即チ勞動者ニ一層高等ナル價值ガ認めラレ、而シテ有資産者階級ノ方面ヨリノ抵抗ガ減弱スル結果トシテ、社會的平和ノ方向ニ於テ一進歩ガ實現サレルデアラウト云フコトデアアル。

只今述ベシ如クニ平和ノ經濟ガ戰爭ノ經濟ヨリ借ル處ガアラウ或ハ裨益サレル處ガアラウト見ル見解ハ現今ノ經濟學者間ニ一般ニ認めララル傾向ニ反スルカモ知レナイ。彼等ハ平和ノ經濟モ戰爭ノ經濟モ共ニ利益或ハ利潤ヲ唯一ノ目的トスルモノニシテ兄弟姉妹ト見ル可キモノデアアル、而モ戰爭ハ企業トシテハ甚ダマツイ、ツマリ儲カラナイモノデアルト云フコトハ、國民ノ早晚理解シテクルコトデアアルカラ、戰爭ハ遂ニ消滅ス可キモノデアルト考ヘテ居ル。サレド余輩ハ戰爭ノ經

濟ト平和ノ經濟トノ反對ヲ異ナレル方面ヨリ考察セントスルノデアル。戰爭ハ勞動ト資本トガ相協働スル一ノ企業デアルトハ敢テ考ヘラレナイコトデハナイ。今日ノ戰報ニ於テモ屢々兵士ノ働キ(勞動)ト云フ語ガ用ヒラレテ居ル。而モ此働キ、勞動タルヤ、箇人ノ利益ヲ目的トシナイト云フ事ヲ其特徴トシテ居ル。戰爭ノ經濟ガ產業經濟ヨリ根本的ニ異ナツテ居ル點ハ、前者ハ利益ヲ動機トスルガ後者ハ犧牲ヲ動機トスルト云フ事デアル。モツトモ戰爭ニヨツテ利益ガ得ラレヤウ而モ其利益ハ國家ノ利益ニシテ箇人ノ利益デハナイ、要スルニ若シ戰爭ヲ一ノ企業ト見ルナラバ、是レ「何人モ自分ノ爲メニ生活シナイ」ト云フ使徒ノ言葉ヲ其儘ニ實現スル唯一ノ企業形態デアルト云ハネバナラス。而シテ此ノ「各箇人ガ總テノ人々ノ爲メニ」ト云フコトガ即チ軍隊ヨリ一般ノ市民ニ送レル福音ニシテ、上ニ述ベシガ如ク今日吾人ノ生活ニ半社會主義的ナ少ナクモ明ラカニ「ソリダリズム」主義的ナ相貌ヲ與フルモノデアル。此新シキ精神コソ余輩ガ目下ノ戰爭ヨリ生マル可キ社會ノ神髓ニ少ナクモ幾分カ傳ハラントヲ希望スルモノデアル。一度戰場ニ於テ此ノ共同生活ニ這入ツタ人人ハ「各箇人只自分ノ爲メニ」ト云フ貧弱ナ生活ニ全然立チ歸ヘルコトハ出來マイト思フ。

云フマデモナク產業經濟ノ特徴タル生産事業ハ戰爭ノ特徴タル破壊事業ト同ジ諸德<sup>ヴェルデ</sup>ニヨツテ遂行サレルコトハ出來ナイ。犠牲ノ精神ニ訴ヘテ富ヲ造ラントスルハ愚デアル。戰場デ塹壕ヲ堀ルノト田ヲ耕ヤスノトハ違フ。併シ吾人ハ箇人の利益利己心ノ勢力ヲ充分ニ認メテ、置イテモ、尙ホ利益ノ欲望ガ人間行動ノ唯一ノ動機トハナラズ、而シテ相互補助ガ現時ニ於テヨリモ一層盛カンニ行ハルル一定ノ經濟的狀態ヲ考ヘルコトガ出來ル。是レ實ニ產業組合主義ノ綱領デアル。產業



組合主義ノ格言ハ、正シク余ガ今日戰時ノ社會ノ特質ヲ發揮スルモノトシテ上ニ述ベシ其格言、即チ「各箇人ガ總テノ人人ノ爲メニ」ト云フコトデアルノデアル。戰場ニ於テ必要上此格言ヲ學シダ人人ハ、平時ニ於テ之ヲ實行スルニ一層ヨク適スル氣風ヲ具ヘテ居ルデアラウ。今日交戰國ニ於テ産業組合ノ擧ゲシ功績ハ多大デアル。獨逸軍モ其占領セル都市ニ於ケル産業組合ハ特ニ尊敬シテ居ル。今回ノ大戰亂ノ始メニ當テハ余輩ハ微微トシテ振ハザル佛國ノ産業組合運動ハ到底其ノ打擊ニ堪ヘ得ナイデアラウト心配シテ居ツタガ、今日デハ寧ロ新シキ元氣ヲ振起シテ一層活動スルデアラウト信ジテ來タノデアル。

併シ小サキ産業組合ノ世界以外ニ於テ、吾人ハ此ノ大戰爭ノ結果トシテ傭主ト労働者トノ關係カ一層穩ヤカナナリ、同盟罷工ヤ總同盟罷工ノ脅迫ガ減少シ、調停和解ニ訴ヘル傾向カ大ニ發達スルヲ期待スルコトガ出來ナイデアラウカ。先ヅ吾人ハ戰後ノ曉ニ於テ事業恢復ノ爲メニ工業ガ大ニ活動スルデアラウト豫想スルコトガ出來ル。而シテ此場合ニハ疑ヒモナク利潤率ハ新開國ニ於ケル如ク大ニ高マルデアラウ。實ニ戰後ノ歐洲ハ實際上新開國ト想像シテヨイト思フ程目下在來ノ歐洲ハ破壊サレツツアルノデアル。次ニ吾人ハ之ニ對シテ戰後労働ノ供給ハ大ニ減少スルデアラウト考ヘルコトガ出來ル。蓋シ目下ノ戰場ノ有様ヲ見レバ戰死者ヤ廢兵ノ數ハ非常ニ大ナルモノデアラウト想像サレルカラデアル。此クテ労働需要ノ増加ト労働供給ノ減少トノ二重ノ作用ノ下ニ賃銀ハ又迅速ニ高マルデアラウ。而シテ此ノ如ク利潤ト賃銀トガ相並行シテ高マルト云フコトハ、既ニ社會的平和ノ一條件トナルト考ヘルコトガ出來ル。サレド吾人ハ此ノ點ニアマリ信頼シ過ギテハナラス。蓋シ同盟罷工ノ歴史ハ、只今述ベシ經濟的因素ニ一層有効ナル他ノ道德的

因素ガ加ハルニ非ラズバ社會的平和ノ確立サレ難イコトラ教ヘテ居ルカラデアル。而シテ吾人若シ階級ノ偏見及ビ憎惡ガ一度戰場生活ニ於テ忘レラレタル上ハ、假令其後復活シテモ決シテ以前ホド強クハナカラウト考ヘルトスレバ、夫ハアマリニ樂觀スギルデアラウカ。戰後幸ヒニ生殘レル兵士ガ各各家ニ歸ヘリ、夫レ夫レ業ニ就イタ後、彼等ハ時時戰場ノ生活ヲ憶ヒ起シ、今日佛蘭西ノ土地モ財寶モ尙ホ佛蘭西人ノ所有デアルノハ、是レツマリ戰友ノ賜物デアルト云フ様ニ考ヘナイデアラウカ。余ハ勿論無資産者ノ子弟ハ有資産者ノ子弟ヨリモ一層勇敢ニ又獻身的ニ戰フテ居ルト云フノデハナイ。併シ今回ノ戰爭ハ實ニ前代未聞ノ民衆ノ戰爭、人民ノ戰爭デアル、幾百萬ノ兵士ヲ供給シ、絶ヘズ軍隊ヲ補充シテ居ルノハ民衆デアル。此等ノ民衆無資産階級ノ人々ハ「汝等ハ何故ニ自分ガ何等ノ土地モ家モ有セザル所謂母國ノ爲メニ生命ヲ捨テントスルガ如キ愚ヲ敢テスルカ」ト云フ様ナ聲ニ耳ヲ借シ、斷ジテ召集ニ應ジナカツタトシテモ仕方ガナイノデアル。併シ彼等ハ此ノ聲ニ耳ヲ借サズ、他ノ聲、即チ「階級ノ差別ノ上ニ、貧者モ富者モ、又勞働者モ資本家モ合シテ一トナツテ居ル高等ナル國ガアル」ト云フ母國ノ聲ニ應ジテ蹶起シタノデアル。サレバ彼等ガ戰後彼等ガサホド身命ヲ賭シテマデモ其ノ保存ニ努力シタ國民的富ヲ從來ヨリハ少シク多ク分配サレタシ、一層價值アル生活條件、安心シ得ラルル將來ヲ與ヘラレタシト要求スルニ當テハ、余ハ固ク信ズル、彼等ノ要求ハ從來ヨリハ一層ヨク聞キ入レラレルデアラウト。此クテ余ハ之レヨリ講述セントスル賃銀勞働ノ進化ハ目下ノ大戰爭ニヨリテ一段高キ階段ニ推シ上ゲラレルデアラウト信ズルノデアル。